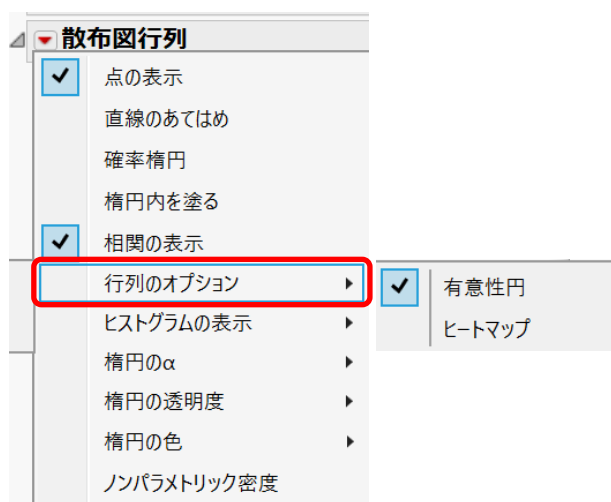


#7. 散布図行列に有意性や相関の大きさを示すグラフを表示（JMP 15 新機能）

「多変量の相関」において、「JMP 15」では、散布図行列のレポートにおいて、相関係数の大きさを色のグラデーションで表示する機能、相関係数の有意性を円の大きさで表示する機能が追加されました。変数が多いときに、変数間の相関の大きさを視覚的に判断するツールとして有効です。

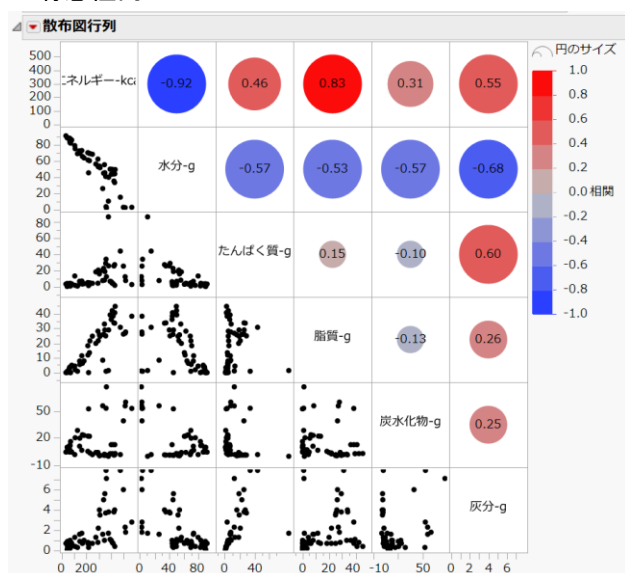
■操作: 散布図行列の有意性円、ヒートマップを表示

レポート「散布図行列」の左上にある赤い三角ボタンから「行列のオプション」を選択し、[有意性円]または[ヒートマップ]を選択します。

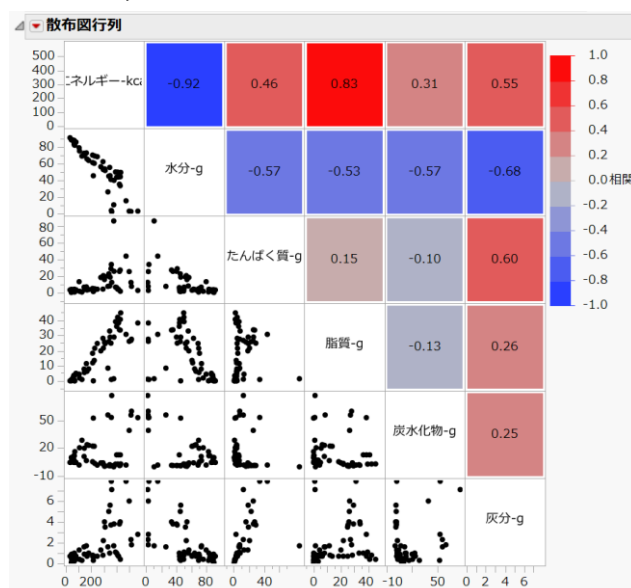


散布図行列の上三角部分が有意性円、またはヒートマップになります。

有意性円



ヒートマップ



有意性円の大きさは、相関の p 値の大きさにより、円の大きい順に次の 6 段階で表示します。

非常に大きい -- $0 < p \text{ 値} \leq 0.0001$, $0.0001 < p \text{ 値} \leq 0.001$, $0.001 < p \text{ 値} \leq 0.05$

$0.05 < p \text{ 値} \leq 0.1$, $0.1 < p \text{ 値} \leq 0.5$, $0.5 < p \text{ 値} \leq 1$ -- 非常に小さい